

- 問1 山形県の日本海側に位置する庄内平野が、日本屈指の米どころとして発展した背景には、この地域特有の地形や水資源の条件があります。その背景を説明したものとして最も適切なものはどれですか。 (2025年 沖縄県公立入試 類似)
1. 最上川がもたらす肥沃な土壌と、奥羽山脈などからの豊かな雪解け水が供給されるため

2. 最上川の急流を利用した水力発電により、農業用機械の電力を安価に確保できたため

3. 年間を通じて雨が極めて少なく、乾燥した気候が稲の成長に適しているため

4. 夏の間も冷涼な偏東風（やませ）が吹くことで、稲の病害虫の発生が抑えられるため
- 問2 仙台市の気象統計において、1993年の7月から8月にかけての月別平均気温が、過去30年間の平年値を大きく下回る記録的な冷夏となりました。この低温現象の主な要因となった、オホーツク海高気圧から吹き込む冷たく湿った北東の風を何と呼びますか。 (2022年 愛媛県公立入試 類似)
1. フェーン

2. 季節風（モンスーン）

3. からっ風

4. やませ
- 問3 夏の東北地方の太平洋側において、寒流である親潮の影響を受け、冷たく湿った北東の風が吹き込むことで、気温が上がらず稲などの農作物の成長が妨げられる「冷害」が発生することがあります。この風を何と呼びますか。 (2021年 千葉県公立入試 類似)
1. 季節風

2. からっ風

3. やませ

4. フェーン
- 問4 東北地方の太平洋側では、夏に「やませ」と呼ばれる冷たく湿った北東風が吹くことで、気温が上がらずに農作物の生育が妨げられる「冷害」が発生することがあります。このような自然条件を克服するために行われてきた、東北地方の稲作に関する取り組みとして最も適切なものはどれですか。 (2017年 兵庫県公立入試 類似)
1. 耐冷性に優れた品種改良を重ねるとともに、高品質な銘柄米を安定して生産する体制を整えた。

2. 冷害による収穫不足を補うため、米から小麦や大豆への全面的な作目転換を地域全体で行った。

3. やませの冷涼な気候が稲の成長を助けることを利用し、生産量を無制限に増やす方針をとった。

4. 大規模な温室を建設し、夏の間も人工的に気温を上昇させて熱帯地域の稲を栽培するようにした。
- 問5 青森県の人口ピラミッドの推移において、底辺が狭く高齢層が厚い「つぼ型」の特徴が顕著に表れ、少子高齢化が最も進行していることを示すグラフに対応する年代として正しいものはどれですか。 (2025年 青森県公立入試 類似)
1. 2000年

2. 1990年

3. 1980年

4. 2020年
- 問6 東北地方の太平洋側では、夏にオホーツク海高気圧から冷たく湿った北東の風が吹き込むことがあります。1993年の統計で稲の収穫量が極端に落ち込んだ要因となった、この風の名称と、それによって引き起こされる災害の組み合わせとして適切なものはどれですか。 (2020年 佐賀県公立入試 類似)
1. やませによる冷害

2. フェーン現象による火災

3. からっ風による干害

4. 季節風による豪雪
- 問7 中央部に火山や深い湖があり、東部で「ごぼう」の生産が盛んな地域では、収穫された農作物を大消費地である東京へ供給するためにどのような工夫がなされていますか。流通の仕組みとして正しいものを選びなさい。 (2023年 東京都公立入試 類似)
1. 施設栽培により生産時期を調整し、航空便を用いて海外へ輸出する。

2. 鮮度を維持するために、収穫後すぐにフェリーで2日かけて近畿地方へ運ぶ。

3. 収穫後に冷蔵庫で保管し、トラックを用いて約10時間かけて輸送する。

4. 収穫後すぐに加工工場へ運び、すべて缶詰や冷凍食品として出荷する。
- 問8 秋田県の伝統文化や観光資源に関する記述として、最も適切な内容を選びなさい。 (2016年 三重県公立入試 類似)
1. 角館の武家屋敷は、明治時代の文明開化によって急速に整備された洋風の建築物群として知られている。

2. 国の重要無形民俗文化財に指定されている竿燈まつりは、五穀豊穡を願う行事としての側面を持っている。

3. 秋田県内で伝統的に受け継がれてきた武家屋敷の景観は、主に奥州藤原氏の時代に築かれたものである。

4. 竿燈まつりでは、七夕の時期に合わせて豪華な七夕飾りを吊るした竹竿を街中で振り回す。
- 問9 東北地方の多くの県において、「耕地面積に占める田の割合」が他の地方に比べて高い傾向にある理由として、最も適切な説明はどれですか。 (2021年 香川県公立入試 類似)
1. 県全体の面積に対して耕地そのものが占める割合が低く、山間部のわずかな土地がすべて水田として利用されているため

2. 一年を通じて温暖な気候を利用し、同じ土地で米を二回作る二期作が広く行われているため

3. 都市部への出荷を目的とした野菜栽培（近郊農業）を制限し、伝統的な米作りを法律で強制しているため

4. 広大な平野部を利用して大規模な稲作が中心的に行われており、畑に比べて水田の面積が圧倒的に広いため
- 問10 初夏から夏にかけて、東北地方の太平洋側にオホーツク海高気圧から吹き込む、冷たく湿った北東の風を何と呼びますか。 (2026年 長野県公立入試 類似)
1. フェーン現象

2. からっ風

3. 季節風（モンスーン）

4. やませ
- 問11 山形県天童市で伝統的工芸品である将棋駒の製作が盛んになった歴史的背景として、最も適切な説明はどれですか。 (2024年 福島県公立入試 類似)
1. 明治時代に、西洋から輸入された木工技術をいち早く取り入れたから

2. 戦国時代に、城郭を建築するための余った木材を再利用したから

3. 大正時代に、鉄道の開通によって全国へ宣伝する広報活動が成功したから

4. 江戸時代末期に、生活に困窮した武士の副業として奨励されたから
- 問12 東北地方では、8月上旬に「青森ねぶた祭」「秋田竿燈まつり」「山形花笠まつり」「仙台七夕まつり」などの大規模な祭りが集中して開催されます。これらの夏祭りの日程が、8月2日から8日にかけて互いに少しずつ重なり合うように設定されている主な理由として、最も適切なものはどれですか。 (2026年 長野県公立入試 類似)
1. 各地域の農作業が一段落する時期が異なるため、古くからの習わしに従って厳密に日程を分けているため

2. 祭りに参加する囃子手や踊り手の不足を補うため、周辺の市町村から互いに応援を出しやすくするため

3. 観光客が複数の祭りを一度の旅行で巡る「周遊」を可能にし、地域全体の観光振興につなげるため

4. 冷害などの気象災害が発生しやすい時期を避け、最も気温が高く晴天が期待できる期間に限定するため
- 問13 東北地方の伝統文化について、都道府県名とその地域を代表する祭りの内容や特徴の説明として、最も適切な組み合わせを選んでください。 (2017年 兵庫県公立入試 類似)
1. 宮城県 — 多数の提灯を吊るした長い竹竿を稲穂に見立てて操る「竿燈祭り」

2. 秋田県 — 豪華な吹き流しや短冊などの飾りを竹に吊るす「七夕祭り」

3. 青森県 — 巨大な灯籠（とうろう）を引いて街を練り歩く「ねぶた祭り」

4. 岩手県 — 巨大な灯籠（とうろう）を引いて街を練り歩く「ねぶた祭り」

答え合わせ・解説

問1	答え 1 最上川がもたらす肥沃な土壌と、奥羽山脈などからの豊かな雪解け水が供給されるため	庄内平野は、最上川の下流に広がる沖積平野です。米作りには大量の水が必要ですが、この地域では冬の間に山に降り積もった雪が春に溶け出し、最上川などを通じて平野に潤いをもたらします。この「雪解け水」と、川が運んできた栄養豊富な土壌という自然の恵恩に加え、大規模な灌漑施設の整備といった人の努力が組み合わさり、一大稲作地帯となりました。なお、「やませ」は東北地方の太平洋側に冷害をもたらす要因であるため、日本海側の庄内平野には当てはまりません。
問2	答え 4 やませ	1993年は日本全体が記録的な冷夏に見舞われ、特に東北地方の太平洋側では「やませ」の影響が強く現れました。オホーツク海から吹くこの風は非常に冷涼であるため、長期間吹き続けると稲の生育が著しく阻害されます。この年は全国的な米不足となり、海外から緊急輸入が行われるなどの社会現象にも発展しました。
問3	答え 3 やませ	東北地方の太平洋側で、親潮の上を通る冷たい空気が、オホーツク海高気圧から北東の風として流れ込む現象を指します。この風が長く続くと、日照不足と低温によって深刻な冷害をもたらす要因となります。
問4	答え 1 耐冷性に優れた品種改良を重ねるとともに、高品質な銘柄米を安定して生産する体制を整えた。	東北地方は古くから「やませ」による冷害に悩まされてきましたが、農業試験場などを中心に寒さに強い稲の品種改良が進められてきました。現在では、単に寒さに強いだけでなく、「コシヒカリ」などの系統を継承した「ひとめぼれ」や「あきたこまち」といった食味の良い銘柄米（ブランド米）の生産が盛んになり、全国的な産地としての地位を確立しています。
問5	答え 4 2020年	人口ピラミッドの形状は時代とともに変化します。1980年頃は底辺が広く若年層が多い形状でしたが、2000年の移行期を経て、2020年頃になると出生数の減少により底辺が狭くなり、同時に平均寿命の伸びによって高齢層が厚くなる「つぼ型」へと変化しました。
問6	答え 1 やませによる冷害	オホーツク海高気圧から吹き出す冷たく湿った北東風は「やませ」と呼ばれます。これが夏に東北地方の太平洋側へ長時間吹き込み続けると、気温が上がらず日照時間も不足するため、稲などの作物の生育が悪くなる「冷害」が発生します。1993年は特にこの影響が強く、記録的な不作となりました。
問7	答え 3 収穫後に冷蔵庫で保管し、トラックを用いて約10時間かけて輸送する。	福島県周辺で生産されるごぼうは、品質と鮮度を維持するために収穫後に冷蔵保管されるのが特徴です。また、東北地方という立地を活かし、高速道路網を利用したトラック輸送によって、約10時間という半日圏内で東京などの首都圏市場へ安定的に供給する体制が整えられています。
問8	答え 2 国の重要無形民俗文化財に指定されている竿燈まつりは、五穀豊穡を願う行事としての側面を持っている。	秋田竿燈まつりは、真夏の病魔や邪気を払う「ねぶり流し」が起源とされ、竹竿を稲穂に、提灯を米俵に見立てて五穀豊穡を祈る、国の重要無形民俗文化財です。角館の武家屋敷群は江戸時代の武家文化を伝えるものであり、奥州藤原氏（岩手県平泉）や明治時代の洋風建築とは歴史的背景が異なります。
問9	答え 4 広大な平野部を利用して大規模な稲作が中心的に行われており、畑に比べて水田の面積が圧倒的に広いため	東北地方は「日本の穀倉地帯」と呼ばれ、庄内平野や仙台平野などの広大な平野を中心に稲作が極めて盛んです。農業の主体が水田による米作りに置かれているため、耕地の構成において畑よりも田の占める面積が非常に大きくなり、結果として「耕地面積に占める田の割合」が高くなります。二期作は主に温暖な高知県などで行われてきたものであり、東北地方の特色ではありません。
問10	答え 4 やませ	東北地方の太平洋側では、オホーツク海高気圧から吹き出す「やませ」の影響で、夏季に低温が続き、霧が発生して日照時間が不足することがあります。これにより、稲の生育が妨げられる冷害が発生する大きな要因となります。
問11	答え 4 江戸時代末期に、生活に困窮した武士の副業として奨励されたから	天童における将棋駒作りは、江戸時代末期の天童藩において、財政難で生活が苦しかった武士を救済するために、藩が副業として推奨したことが始まりです。将棋は兵法にも通じることから、武士の職務にもふさわしいと考えられました。これがのちに伝統産業として定着し、現在に至ります。
問12	答え 3 観光客が複数の祭りを一度の旅行で巡る「周遊」を可能にし、地域全体の観光振興につなげるため	東北地方の主要な夏祭りは、近接する各県が連携して開催期間を調整しています。例えば、青森では2日から7日、秋田では3日から6日、仙台では6日から8日といった具合に日程が設定されています。このように意図的に期間を連動させることで、観光客が1回の旅行で複数の祭りを訪れる「周遊観光」を促し、宿泊客の増加や滞在時間の延長といった経済効果を地域全体にもたらす工夫がなされています。
問13	答え 3 青森県 — 巨大な灯籠（とうろう）を引いて街を練り歩く「ねぶた祭り」	青森県は「ねぶた祭り」、秋田県は竹竿に提灯を吊るす「竿燈（かんとう）祭り」、宮城県（仙台市）は「七夕祭り」がそれぞれ有名です。これらは東北三大祭りとも呼ばれ、各県の地理的・文化的背景と密接に結びついています。岩手県の代表的な祭りには「盛岡さんさ踊り」などがあり、ねぶた祭りとは異なります。